

段差の見える化

はじめに

OAフロアやアスファルト防水範囲など、建物用途によっては多く段差の見られる建物がある

内装工事、設備工事に多く使われる高所作業車は段差による事故例が多く段差解消の安全設備を整えることは、安全管理する上で非常に重要である

本例ではその段差の見える化を行い、各作業員に自発的に段差解消をさせるような安全設備を提案する

段差の見える化



ex)OA段差のある部屋(H=100)



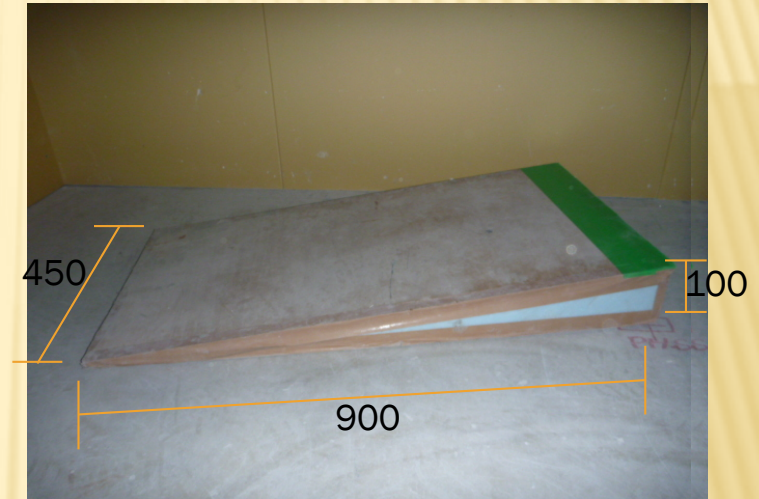
段差の視覚化

段差部分に色を付けることで、
作業員に段差を視覚的に意識づける
(ここでは100段差=緑と定義付ける)

段差解消の意識づけ

コンパネとスタイロフォームにより
持運び可能な軽量スロープを作成する

↓
100段差を示す緑のテープをスロープ
頂部に貼る



作業員の目に付きやすい階段付近に
カゴ台車で管理する



段差解消



- ・ 段差の高さを色で意識付けることによって、各作業員が視覚的にわかりやすく段差解消を行うことができる
- ・ 軽量であるため持ち運びやすく自発的に段差解消が行われる
- ・ スロープを2つ並べて使うことで様々な車幅に対応可能である